

令和3年度 第2回 御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 会議録

日時： 令和3年5月13日(木)

13:00 ~ 15:40

場所： 御殿場市林業会館 1階 第1研修室

1 出席者

〔御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会 委員〕※敬称略

芹澤 直己、根上 清逸、富岡 智奈美、菊池 いづみ、滝口 兼光、杉澤 良夫、刈山 祐江、
勝亦 悦子、立道 佳之、細谷 志野、勝又 洋平、上原 正典、渡邊 ゆかり 計 13名

〔御殿場市市民協働型まちづくりアドバイザー〕※敬称略

牛山 久仁彦（明治大学 政治経済学部教授）

〔明治大学〕※敬称略

吉澤 佑葵

〔事務局(市民協働課)〕

井上課長、小長井

2 事業報告会〔13:00~14:40〕

〔内容〕

令和2年度御殿場市市民協働型まちづくり事業補助金の実績報告のため、各団体・担当課のプレゼンテーション、質疑応答等を実施。「御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会」の委員13名を評価者として、本年度実施された市民提案事業4事業(新規3事業、継続1事業)の評価を行った。

【市民提案事業】

- (1) 事業名： 家族を守るママ防災〔1年目〕
団体名： 御殿場ママ活情報局
担当課： 危機管理課

〔質疑応答〕

- (委員) 企画の段階では母親を主な対象にしていたと聞いていたが、事業実施の中で広く市民全体に広がったことは良かったと思う。地域との関りということで、自治会との関りは具体的にどのようなことがあったのか。
- (団体) 構成員に長く地域防災に関わっているメンバーがおり、上手く連携できた。
- (担当課) そもそも、若い母親世代の方は特に地域で行う「自主防災」になじみがなく、活動していく中でそういった地域の取り組みも知っていただく効果があったと思う。
- (委員) 団体の自己評価の中で触れられていた「地域格差」という言葉が引っかかった。これから広

く市民に活動を広げていく中で、この地域格差は埋めなければいけない問題だと思うが、具体的にどのようなことがあると考えているのか。

(団体) ここでいう「地域格差」というのは、地域ごとに抱えている問題点が違うという意図で、例えば富士岡地区であれば水害が、深沢地区であればがけ崩れが重要な課題となるなど、中心となるポイントが異なってくることを表現したもの。

(委員) 団体と担当課の自己評価について非常に高く評価されている。FM や新聞で周知しているが、反響・手ごたえをどう感じているか。

(団体) メディアはその時にパッと流れるだけなので、そこまで効果はないと考えているが、メディアに取り上げられることで事業自体の「格が上がる」部分もあるため、上手く活用して全体的な意識を上げていく、浸透させていく効果はあると思う。メディアに掲載されたことについて、SNS でも周知しているので、そういった部分も大きいかなと思う。

(2) 事業名: 御殿場市における生物多様性の調査・啓発活動〔2年目〕

団体名: 特定非営利活動法人 土に還る木 森づくりの会

担当課: 環境課

〔質疑応答〕

(委員) 新聞等で行事の案内は良く見るが、活動が終わった後の報告の記事を見ない。事業を行った結果などについて周知してもらいたいと思う。

(団体) 情報提供はしているが、なかなか取り上げてもらえない。HP 等でも情報は告知している。

(委員) テキストを作っているが、これは毎年作っているものなのか。

(団体) 2年目までは作成したが、3年目は協働事業では作成しない。

(委員) 様々な活動をしていると思うが、テキストを使った座学をしてその後それに沿った講習・体験などをやられているのか。

(団体) 小中学校には冊子とともに小冊子(プリントアウトして、組み立てるもの)なども配布している。

(委員) 報告書に掲載する写真等には、キャプション(内容や行った日付など)を記載していただいた方が分かりやすいと思う。

(団体) はい。

(3) 事業名: 「富士の麓の美味しいレシピ おうちでいただきます」情報発信事業〔1年目〕

団体名: 富士の麓の美味しいレシピ 御殿場プロジェクトチーム

担当課: 観光交流課

〔質疑応答〕

(委員) コロナ禍の中で、動画の撮影、配信など、大変苦慮したと思う。シェフの方たちは教えることが仕事ではないためきっと緊張されながら動画を撮られたと思うが、料理動画は教えることだけでなく、プロが料理を作っている姿を見ることも視聴者には求められている事なので、作

っている動画を上げて、それが例えばテイクアウトの商品購入に繋がるような形であれば、顔も映らないし、コメントも要らない、という方法もあると思う。編集はプロの方をお願いしているのか。

(団体) はい。編集はプロに依頼しているが、撮影はそれぞれに依頼する形としたため、上がってくる動画の質や形式もまちまちとなってしまった。

(委員) 発信の仕方、広め方に課題があったと思う。地域の繋がりでできた SNS のグループなどもあるので、そういったところに集中的に情報を伝えるなど、工夫も必要だったと思う。動画自体は残っていくものなので、令和 3 年度は市民協働型まちづくり事業からは外れるが、動画を活用して多くの方に見ていただけるようにできればよいと思う。

(団体) 県の助成メニューにエントリーしており、より拡大し、整った形で、また他団体と連携しながら事業を実施していきたいと考えている。

(4) 事業名: 御殿場の魅力発掘事業〔1 年目〕

団体名: 御殿場の魅力発掘隊

担当課: 魅力発信課

〔質疑応答〕

(委員) 収支決算書の内容で、通信運搬費 23,300 円 メール配信、資料送付 は、具体的に何に要した経費か。

(担当課) 今回発掘した情報について、1,000 人規模の方に情報を流すためのメール配信に要した経費。

(委員) 様々な分野をテーマに上げているが、どういったターゲットを主に想定して情報発信をしているのか。

(団体) 特に市内外を問わず発信をしていくことが基本にある。市外の方に向けた観光等を中心とした情報発信という目的もあるが、地元の方に地元のことを知ってもらいたい意図もある。

(委員) YouTube での情報発信が主な方法とのことだが、反響はどの程度あったのか。

(団体) 再生回数は数百回程度。

(委員) 新型コロナウイルス感染症の関係で観光ツアー等の実施が見送られたとのこと。例えば今後、御殿場市内の方向けのツアーなどは考えられているか。

(団体) 具体的な検討はしていないが、いただいた意見も参考にさせていただきたい。

(担当課) 本来であればドローンによる調査など、市民を巻き込んだり、観光の要素を含める形での実施が想定されたが、新型コロナウイルス感染症の状況によりそれがかなわなかった。今年度以降、実践していきたい。

(委員) 令和 3 年度の事業採択にあたり、交付の条件として「事業により公共的な課題の解決や市民生活が豊かになることにつながる成果が出るように取り組んでいただきたい」となっている。団体が様々な御殿場の魅力を発掘していただけると思うので、市の方でもそれを有効に活用して欲しいと思う。

(担当課) はい。

3 選考会 [15:00 ~15:30]

[内容]

事業報告会でのプレゼンテーション及び質疑応答の状況、報告書の内容、採点結果(順位付け)、委員からのコメント等を踏まえ、各事業の実施内容及び実績について協議を行った。

【市民提案事業】

- (1) 事業名： 家族を守るママ防災 [1年目]
団体名： 御殿場ママ活情報局
担当課： 危機管理課

[コメント(審査用紙自由記載欄)]

- ・今後はママ防災だけではなく、老人クラブも巻き込んだら良いと思う。
- ・視点が明確であったと感じました。今後どのように広めていくのか、今年度の活動に注目したいと思います。
- ・インパクトを高めチラシ作り(工夫)冊子 誰に出にでも必要な情報であることを伝えている
危機管理課+女性 → 強み
新しいことを進めていくエネルギッシュな活動が素晴らしい
- ・地域との協力はどうだったのか → メンバーに地域防災の人を迎え取り組んだ 色々な作戦
- ・防災講座の参加者数が少なくても、参加者による SNS の発信出多くの方への意識向上につながったことが良い。継続事業に期待します。
- ・ママ・母という観点からの事業が、内容を身近で意味のあるものになっていると思われる。SNS を強調するがために、ついていけない人も増えるのでは？
- ・市民協働の手法と女性の視点を防災に取り入れるという方向性は非常に評価できる。課題の取り出し方に団体の目線からしか検討されていない、事業への効果検証についても、広い視野での評価がされていない。
- ・防災の分野で、母親目線を取り入れられたのは、団体ならではと思いました。「家族を守る」をキーワードに「父親目線」「高齢者のいる家庭」「単身者」等、広げられれば、反響もさらに大きく感じられるのではないかと思います。
- ・素晴らしい取り組み、1年目としては満点。2年目の更なる発展を期待します。
- ・あらゆる手段を使って努力⇒アピールしている。 ※途中で笑ったり失礼
◎女性の防災意識の向上を目指す
一般の防災との違いが明確でない？ような気がする(女性ができるもの)→家庭における防災は理解できる。
- ・構成人数の多い団体が「防災(命)」に目を向けてくれると、市民全体の防災意識向上につながるため、素晴らしい活動。令和3年度は子供もパパも巻き込んだ親子活動に期待！！

[協議内容]

- (委員) 時代に合った事業で良かったと思う。更に底辺を広げるには、多様な方々が集まるような形、例えば老人クラブなども活用してはどうかと思う。新型コロナウイルス感染症の関係でな

かなか人を集めることが難しい状況ではあるが、人が集まるには子ども、お年寄りの方を軸にする方法があると思うので、そういった方にも広げていくことでより防災意識が高まっていくのではないかと。

(委員) 以前、市内で停電が起きた際に、団体の Facebook でわっと情報が集まって、非常に助かった。ただ、その場に情報を求めに行かないと知ることが出来ないで、例えば市の HP からリンクさせるなど、情報に繋がる事が出来るような形にできないかと思う。

(2) 事業名: 御殿場市における生物多様性の調査・啓発活動〔2年目〕
団体名: 特定非営利活動法人 土に還る木 森づくりの会
担当課: 環境課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・もっとマスコミを活用したほうが良いと思う。
- ・環境問題は非常に大切な分野ですので、一歩進んだ課題解決に向かうような活動を期待します。
- ・市内の小学校に環境教育、学校の先生には教わらないことを学ぶよい機会活動を告知する記事はどのようなものか。今後の告知の仕方を考えると良い。
- ・子ども達にとってはとても貴重な体験になったと思う。大人向けの事業があっても良いのかな。
- ・環境保全は必要な事業で継続を期待するが、協働という中での行政の役割が見えなかった。
- ・知ることによって郷土愛のような心情を育てる動きが出ると良いし、それを目的の一つにもしてほしい
- ・地域の環境教育を実施している活動内容は非常に評価できる。事業を実施する上で、狙いの対象年齢の範囲を広げていけるような工夫がほしい。
- ・生物多様性が注目されている中、行政では取り組むことのできない専門的な分野であり、子ども達のためにもぜひ継続してほしいと思います。
- ・教育に結びついている点はとても良い活動だと思います。
- ・場所を市内の近くの所につくれないか? 資料が写真だけでさみしい
- できるまでの苦労や必要性について 30万円の使い道とか分からない
- 参加者の声とかも入れるとよい ホームページについて(説明がない)
- 600人の参加 多いのか?
- ・継続的に事業を行っていることに頭が下がる。今後冊子を使った環境教育による子供の育成、現実部隊である大人への講習に力を入れてほしい。

〔協議内容〕

(委員) 子ども達を対象に主な事業を展開されたようだが、大人を対象とした事業を行っても良いかと思う。

(委員) 素晴らしい取り組みをされていると思う。こういった事業の先に、自分が住むまちや地域への「郷土愛」のようなものを育むような視点が加わっていくと良いと思う。

- (3) 事業名: 「富士の麓の美味しいレシピ おうちでいただきます」情報発信事業〔1年目〕
団体名: 富士の麓の美味しいレシピ 御殿場プロジェクトチーム
担当課: 観光交流課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・これからは小さな名もない食堂なども発掘してほしい。
- ・様々な事情により思うようにいかなかった部分もあったようですが、発展性は非常に感じましたので、今後別の形で取り組みを継続していただきたいです。
- ・料理人の負担を減らすため、一人で動いていた。他とのコラボで新しい事業も考えている、とても良い。ユーチューブチャンネルをもっと多くの人に見てもらう工夫が必要。
- ・コロナ禍の中でできることをすぐ取り組んだことは素晴らしいと思う。行政の関りが分かり難い。
- ・情報発信が難しい点ではあるが、御殿場市内の飲料展のシェフの顔が見られたことは貴重である。
- ・「多くの市民に」という狙いからすると、発信の方法が誰にでも使えるものになってほしい気がする。
- ・社会情勢的にニーズの高い事業内容と評価できる。実施した上での課題が明確になっているので、次年度の発展に期待したい。
- ・プロの料理人の方の料理の様子、レシピも作り方も分かり、動画の雰囲気も良く、とても楽しめました。広く市民に知ってもらえる機会があれば効果も違ったのでは思いました。今後の更なる発展のお話も興味深く、期待しています。
- ・人不足、準備不足の感は否めないが、取り組み内容は良かったと思う。作ったものを広めるのはツールのたくさんある時代なので工夫してほしかったです。
- ・字が小さい(資料) 何にお金を使ったのか? → 仕事を失った人へのお金の還元 ※苦労が伝わってきた
もっと大きな組織にしたい - ステップアップ
コロナ禍の中で何かできないか→料理人を知ってもらう→コロナ下でのレシピ(主婦層へ提案)
簡単なことではなかった 動画発信により料理人に負担がかかった、編集にも時間がかかる
- ・今の時代に合った活動内容、プロの料理人を使用しているところが素晴らしい。料理の完成写真が欲しいかな…

〔協議内容〕

- (委員) 御殿場にも多くの料理人の方がいらっしゃるということが知ることができて良かったと思う。地元で長年続いているお店なども取り上げてもらうのも良いのではないかと思う。
- (委員) せっかく作った動画を広く見ていただくことが出来なかったのは残念に思う。また、令和3年度事業の提案会において、事業の主な受益者が個別の店舗等に向いてしまうと考えられるものについては厳格に認めないという判断をさせもらったが、この事業についても紹介された料理人のお店が受益者になる側面もあったのではないかと思う。
- (牛山教授) 前回の協議会(提案会・選考会)でも随分議論になったが、なかなか難しい問題だと思う。このコロナ禍で店舗が陥っている状況をどう支えるかということ言えば「地域振興」の側面がある一方で、どう見ても個別の商店や店舗の利益に繋がる部分もあるなど、どの点までを公共的な、協働の領域と捉えるのかについては様々な議論があるかと思う。その中で1つとし

ては行政の所管課がどう考えるかといった部分や、市としても商業振興施策を行っている中で、どれだけ幅広く地域住民の皆のためになるのか、といったことも含めて議論をしていく必要があると思う。この課題は普遍的なものだと思うので、地域の皆さんの状況も踏まえて、委員で議論をいただければと思う。

- (4) 事業名： 御殿場の魅力発掘事業〔1年目〕
団体名： 御殿場の魅力発掘隊
担当課： 魅力発信課

〔コメント(審査用紙自由記載欄)〕

- ・目的を広げすぎた感がある。1つか2つに絞ったほうが良かった。地元の方にも発信を。
- ・着眼点は素晴らしいと思いますが、発信する対象を明確にした方が、より効果が期待できるのではないかと感じました。
- ・動画で駅周辺を案内したことは良いと思う。民家の中でドローンを飛ばす、行政と一緒にだと市民も安心。1,000人以上へメール配信を行っていた。YouTubeの利用
- ・協働の成果はあったようだ。発信力をもっとつけると良い。
- ・市の魅力を発信するのであれば、まずは市民に周知したほうが良いのではないかと期待しています。
- ・取り組む対象がもう少し整理されると良いように思う。
- ・地域に埋もれてしまっている知識や歴史を専門的な知見を含めて発信していく活動は素晴らしいと感じる。社会情勢に配慮して内容を変更していたり、活動を通して新しい視点を認識しており、更なる発展に期待したい。
- ・御殿場の歴史等についてまとめた本等は多数ありますが、動画やホームページ等に掲載することにより、多くの方が触れやすいコンテンツになっていたと思いました。もう少し子ども向け、若者向け等のターゲットを絞り込むことでより良いものになるのではと思います。
- ・団体づくり、企画進行に苦労した1年目だったと思います。その分2年目に期待が膨らんでいます。2年目のテーマは面白いと思います。
- ・雨乞い祭の歴史の話をしてほしかった 市民のバスツアーは？
写真撮影のみの資料では説得力がない 何をアピールしたいのかよく分からない
パンフレットや冊子で紹介とかしたい コロナのため動きが弱くなってしまった
何にお金を使ったのか？効果は？ タイミング的に苦しい
- ・動画を残すという点では評価できる。今後この動画をどのように生かしていくのが疑問。

〔協議内容〕

- (委員) 御殿場にはたくさん魅力があると思うが、テーマを広げすぎたように感じる。もっとポイントを絞って深く掘り下げた方が良いように感じた。
- (委員) 30も40もテーマがあると説明されており、驚いた。例えば最初にテーマの洗い出しを終えて、補助金の期間の3年間で計画的に実施していくことは補助金の制度上できるのか。
- (事務局) テーマを洗い出した上で、計画的に掘り下げていくことは問題ないが、補助金の制度として

は毎年度審査を受ける必要があり、最初に採択されたからと言って 3 年間の補助金の交付が確約されるわけではない。

- (委員) せっかく作っていただいた HP などについて、市民がどの程度知っているのかなと思う。また、今年度取り組んでいるテーマの進捗状況などについて、市民が見ることが出来るのが重要だと思う。私自身もこの HP の存在は、3 月に行った提案会のタイミングで説明があってようやく知ったが、せっかく作ったのに知られていないのは非常にもったいないと思う。市や協働先とリンクしたり、今年度やっている活動の情報が分かるのであればよいと感じた。

〔市民協働型まちづくり事業全般に対する意見・感想〕

- (委員) 事業によっては、団体と担当課との「協働」が上手くいっていない、団体が行政を頼っていないものもあるように感じた。例えば「御殿場の魅力発掘事業」の報告会の中でも述べたが、もっと市民のためになるようにという条件を付して採択したということ、協働相手である市がより強く意識して取り組んでいく必要があると思う。

また、今回の報告会について、既に 3 月末に令和 3 年度の事業提案をいただいているため、今年度と前年度の情報が混ざってしまい、分かりづらく感じた。4 月 1 日に交付決定を出したいという理由で今回この形になっているが、事前に報告をもらい、その上で次年度の提案をいただく方が分かりやすいと思う。提案会と報告会が前後してしまっていて分かりづらかった。

- (事務局) 補助金の制度のあり方についても、協議会の皆様や、団体、担当課に御意見をいただきながら、検討していきたいと考えている。